

2021年度

# 事業報告書

自 2021年1月1日

至 2021年12月31日

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階

公益財団法人 岩谷直治記念財団



## 目 次

事業概況と実績	2
1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に 対する助成	3
2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な 産業上の実績が認められる業績の表彰	8
3. 人材育成と国際交流への助成	9
4. 主要事業日誌	13
5. 事業報告の附属明細書	16

## < 事業概況と実績 >

当財団は科学技術に関する研究開発の助成及び奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。

その達成のために2021年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

### 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

岩谷科学技術研究助成	69件	137,340千円
------------	-----	-----------

### 2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

岩谷直治記念賞	1件	5,514千円
---------	----	---------

### 3. 自然科学分野における人材育成と国際交流への助成

岩谷国際留学生奨学助成	52,206千円
-------------	----------

2021年度奨学生	16名(新規)
-----------	---------

2020年度奨学生	13名(継続)
-----------	---------

## 1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

### －岩谷科学技術研究助成－

#### 1) 決定

選考委員会推薦の別表－1に記載の69件を、2021年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が助成対象に決定した。

助成金総額は137,340千円。

#### 2) 助成対象と推薦

##### (1) 助成対象

「エネルギー・資源の有効利用及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

##### (2) 推薦期間

2021年6月1日～2021年7月31日(2ヶ月間)

##### (3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高等専門 学校	研究所	大学院大学	合計
134	103	30	59	42	8	376

##### (4) 推薦件数

196件(前年度168件)

#### 3) 選考経過

##### (1) 第1回選考委員会(8月31日)

本年度の応募総数196件を11名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は35～36件となった。

##### (2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

##### (3) 第2回選考委員会(10月22日)

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」を元に審議を行った結果、研究助成候補として別表－1の69件の推薦を決定した。

別表－1：第48回(2021年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	筑波大学 システム情報系	助教 秋元 祐太郎	デジタル空間での診断に適応可能な燃料電池異常 検知・制御手法の開発	2,000
2	兵庫県立大学 大学院工学研究科	准教授 朝熊 裕介	マイクロ波照射中の屈折率測定からの非熱効果の 検証	2,000
3	兵庫県立大学 大学院工学研究科	助教 稲本 純一	高速充電可能なナトリウムイオン電池用新規負極 材の開発とその反応速度解析	2,000
4	京都工芸繊維大学 分子化学系	准教授 井本 裕顕	三次元レドックス分子による環境適合型デバイス の開発	1,900
5	東京工業大学 物質理工学院	助教 岩橋 崇	非線形分光を用いた超濃厚電解液の機能発現要因 の解明	2,000
6	東北大学 電子光理学研究センター	特任教授 岩村 康弘	水素とナノ構造金属の相互作用によって誘発され る“異常発熱”現象に関する研究	2,000
7	九州大学 応用力学研究所	准教授 内田 孝紀	洋上風力発電の適切な導入に資する日本型風車ウ ェイクモデルの開発と大型商用風車を活用した予 測精度の検証	2,000
8	東北大学 大学院工学研究科	助教 大塚 啓介	超軽量ブレードを有する浮体式洋上風車の非線形 空力弾性解析法の構築	2,000
9	京都大学 大学院工学研究科	准教授 大村 智通	高性能水素移動触媒による脱水素型合成プロセス と水素貯蔵	2,000
10	金沢工業大学 バイオ・化学部	講師 岡田 豪	次世代エネルギー社会を見据えた環境量子モニタ リング素子の開発	2,000
11	帝京大学 医療技術学部	講師 押鐘 浩之	酪酐症由来カンジダ株のエタノール生産への応用	2,000
12	大阪市立大学 大学院工学研究科	教授 加藤 健司	スリット式防波堤を利用したミニ波力発電システ ムの開発	2,000
13	石川県立大学 生物資源工学研究所	教授 河井 重幸	代謝改変した油脂蓄積酵母による褐藻主要多糖ア ルギン酸から油脂への直接変換系の開発	2,000
14	東京工業大学 フロンティア材料研究所	助教 喜多 祐介	バイオマス高付加価値化を可能とする貴金属フリ ー触媒系の構築	2,000
15	広島大学 工学部	助教 キム ウキョン	新規クリーンエネルギーシステム開発を目指した 金属粉体燃焼現象の解明	2,000
16	京都大学 大学院工学研究科	助教 キム ヒョンド	鉛フリーペロブスカイト太陽電池における界面再 結合の抑制技術の開発	2,000

17	東北大学 大学院薬学研究科	助教 熊田 佳菜子	分子状酸素による持続可能な非天然型アミノ酸合成法の開発と不斉合成への展開	2,000
18	北海道大学 大学院理学研究院	准教授 小林 厚志	機能性分子の自己集積能に基づくZスキーム水分解光触媒の開発	2,000
19	九州工業大学 大学院工学研究院	教授 小森 望充	高温超電導コイルの永久電流を用いた省エネルギー型4軸制御磁気浮上システムの研究	2,000
20	大阪府立大学 大学院工学研究科	教授 齊藤 丈靖	パルス電析により三次元ナノ構造化した正負極材料で構成される低コスト・長寿命なリチウム二次電池の開発	2,000
21	沖縄科学技術大学院大学 タンパク質工学・進化ユニット	ポストドク研究員 サクニクテ・トレド・パティノ	持続可能なエネルギーの代替としての電子伝達用タンパク質ワイヤーの設計	2,000
22	筑波大学 数理物質系	准教授 志賀 拓也	大きな磁気熱量効果を示す異種金属多核錯体の開発	2,000
23	名城大学 農学部	准教授 志水 元亨	大気圧プラズマを用いた植物バイオマス中のリグニン分解技術の開発とその応用	2,000
24	山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター	教授 硯里 善幸	カーボンニュートラルな紙を利用したデバイス用基板の開発	2,000
25	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	准教授 関谷 亮	炭素原子層を利用した有機発光体キャリアの開発	2,000
26	京都大学 大学院工学研究科	助教 曾我部 友輔	銅分流層複合マルチフィラメント高温超伝導線で構成されたコイルにおける結合特性の実験的評価手法の確立	1,600
27	金沢大学 ナノマテリアル研究所	教授 當摩 哲也	超高性能ペロブスカイト太陽電池実現のための交互積層構造の構築	2,000
28	京都先端科学大学 工学部	准教授 高橋 亮	多段接続した三相交流電力ルータによる回線交換式電力ルーティングの研究開発	2,000
29	東京大学 大学院農学生命科学研究科	教授 滝川 浩郷	食糧・環境問題の解決に資するストリゴラクトンの有機合成化学的研究	2,000
30	室蘭工業大学 大学院工学研究科	助教 武内 裕香	炭素材料調製の省エネルギー化のための回転磁場による低磁場配向	2,000
31	茨城大学 大学院理工学研究科	助教 多田 昌平	非晶質材料の表面物性に着目した二酸化炭素水素化触媒の開拓	2,000
32	中部大学 工学部	教授 田橋 正浩	高密度酸化物粒子添加による熱電材料Zn <sub>4</sub> Sb <sub>3</sub> の熱電変換性能向上に関する研究	2,000
33	名古屋大学 大学院環境学研究科	教授 角皆 潤	未利用天然水素資源の成因解明と資源ポテンシャル評価	2,000
34	新潟大学 工学部	特任助教 坪ノ内 優太	水中における低濃度二酸化炭素還元を促進する高効率錯体触媒修飾電極の創製	2,000

35	新潟大学 工学部	助教 寺口 昌宏	共役らせんポリマーを鋳型とするドナー型およびアクセプター型置換基の配列と側鎖間エネルギー移動に基づく発光性ポリマーの合成	2,000
36	富山県立大学 工学部	准教授 寺島 修	物体表面の音響透過損失に着目した風力発電時の低騒音化技術の開発	2,000
37	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	特任助教 中内 大介	高いガンマ線弁別性能を有する高効率量子エネルギー変換材料の開発	2,000
38	弘前大学 大学院理工学研究科	准教授 中澤 日出樹	原子間結合制御による窒素ドーパダイヤモンドライクカーボンのn型伝導性制御	2,000
39	埼玉大学 大学院理工学研究科	助教 中田 憲男	低配位典型元素化合物による二酸化炭素固定化を基軸とするポリウレタン前駆体の合成	2,000
40	愛媛大学 大学院理工学研究科	教授 中原 真也	福島原発事故由来の高汚染草木系指定廃棄物の放射性セシウムの拡散を抑制する直接燃焼法の開発	1,950
41	北海道大学 大学院工学研究院	助教 中屋 佑紀	家畜糞尿の嫌気性消化によるメタンガス生成効率の安定化に向けたメタボローム解析	2,000
42	三重大学 大学院工学研究科	准教授 西村 顕	バイオガスドライリフォーミングの分離・反応促進によるH <sub>2</sub> 収率・エネルギー効率向上	2,000
43	鳥羽商船高等専門学校 情報機械システム工学科	教授 西山 延昌	振り子機構を利用した海上揺動発電システムの開発	2,000
44	埼玉大学 大学院理工学研究科	准教授 長谷川 靖洋	ペルチェ熱をプローブとした時間軸での熱電変換材料無次元性能指数決定評価法の確立	2,000
45	山梨大学 大学院総合研究部	助教 原 康祐	電子・正孔輸送層を用いた高効率BaSi <sub>2</sub> 太陽電池の開発	2,000
46	近畿大学 産業理工学部	准教授 春田 正和	透明な全固体電池の構築を目指した電極活物質開発と電極/電解質界面制御	1,890
47	長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻	准教授 日高 勇氣	電気自動車用モータのトレードオフ打開を実現する複数統合型モータの無線温度計測システムを用いた温度依存モータ制御法の開発	2,000
48	東洋大学 理工学部	准教授 平瀬 祐子	水素社会到来時代を見据えた大出力・高効率で電源環境に考慮した電力変換装置の開発	2,000
49	東京農業大学 生命科学部	助教 廣江 綾香	末端構造制御によるバイオポリエステル成形性の拡張	2,000
50	石川県立大学 生物資源環境学部	講師 藤田 萩乃	太陽の集光熱を入力とした熱音響エンジンによる農業ハウスの冷却機構の開発	2,000
51	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科	准教授 藤田 陽師	水素ファインバブルで得られる巨大反応場を利用した芳香族化合物の水素化反応の促進検討	2,000

5 2	山形大学 大学院理工学研究科	助教 藤原 翔	Ni/CeO <sub>2</sub> へのZr添加により発現するNi-O-Ce(Zr)サイトがCO <sub>2</sub> メタン化活性に与える影響	2,000
5 3	長岡技術科学大学 機械創造工学専攻	准教授 本間 智之	電子論に基づき抽出したパイライト構造の熱電特性の評価	2,000
5 4	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	准教授 松島 敏則	ペロブスカイト太陽電池の耐久性向上を目指したドーピングフリー型有機ホール輸送層材料の開発	2,000
5 5	東京工業大学 生命理工学院	准教授 松田 知子	二酸化炭素膨張液体中での酵素反応によるカルボキシル化反応の開発	2,000
5 6	徳島文理大学 薬学部	准教授 松本 健司	不均一系触媒と酸素が可能にする炭素-水素結合の環境調和型直接官能基化反応の開発	2,000
5 7	京都大学 大学院エネルギー科学研究科	助教 南 英治	水添加超臨界メタノールによる木質バイオマスの成分分離とバイオ燃料・バイオケミカル生産への応用	2,000
5 8	山梨大学 大学院総合研究部	教授 宮武 健治	アニオン導電性薄膜の導電率・安定性の両立と高性能アルカリ形燃料電池への挑戦	2,000
5 9	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 森 浩亮	ギ酸水素エネルギーキャリア技術構築を目指した超高活性金属触媒の開発	2,000
6 0	山形大学 大学院有機材料システム研究科	教授 森 秀晴	ゲル共融混合体・シリセキチン微粒子を基盤としたイオン伝導性有機・無機ハイブリッド電解質の開発	2,000
6 1	九州大学 エネルギー研究教育機構	教授 山崎 仁丈	相転移誘起プロトン伝導性金属酸化物の開発	2,000
6 2	名古屋大学 物質科学国際研究センター	准教授 山田 泰之	疎水性反応場を有する超強力人工酸化酵素を用いた難分解性ポリマー分解資源化	2,000
6 3	京都大学 エネルギー理工学研究所	助教 山本 貴之	イオン液体電解質を用いた高安全性レアメタルフリー二次電池の開発	2,000
6 4	香川高等専門学校 電気情報工学科	講師 山本 雅史	H <sub>2</sub> /O <sub>2</sub> 混合ガスを用いた環境に優しいポリマー分解技術のケミカルリサイクルへの応用	2,000
6 5	関西学院大学 工学部	教授 吉川 浩史	金属有機構造体(MOF)を用いたカルシウムイオン電池の開発	2,000
6 6	県立広島大学 生物資源科学部	教授 米村 正一郎	土壌からの亜硝酸および硝酸放出のリアルタイム検出と放出量への温度・土壌水分の影響	2,000
6 7	沖縄科学技術大学院大学 ナノ物質工学・進化ユニット	准教授 ラリーノ・パオラ	デハロゲナーゼ工学によるポリフッ化化合物の分解	2,000
6 8	千葉大学 大学院工学研究院	准教授 劉 醇一	糖アルコール化合物類縁体を用いた新規潜熱蓄熱材の開発	2,000
6 9	東北大学 大学院工学研究科	助教 盧 鑫	水・有機液体の2相分離溶媒を用いた金属コバルトの新規電解回収法の開発	2,000
		(50音順)	合 計	137,340



## 2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

### －岩谷直治記念賞－

#### 1) 決定

選考委員会推薦の別表－2に記載の1件を2021年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が記念賞に決定した。

副賞金額は、1件につき5,000千円。

#### 2) 選考経過

開発業績の主題は、従来通り「エネルギー及び環境に関する優れた技術開発でかつ顕著な産業上の実績が認められている業績」を対象とし、関連学会・協会および関係団体、研究機関、関連企業に6月1日から8月31日にかけて推薦を依頼したところ、3件の推薦があった。

第1回選考委員会(8月31日)において、推薦案件3件を選考委員全員で審査することとし、第2回選考委員会(10月22日)において、「選考審査集計表」(応募案件点数表)に基づき、技術的独創性、産業上の実績等の視点から選考審査を行い、本年度の岩谷直治記念賞候補として1件を推薦することに決定した。

別表－2：第48回(2021年度)岩谷直治記念賞受賞者

所 属	大阪ガスマーケティング株式会社 商品技術開発部 燃料電池開発チーム
代 表 者	マネージャー 井上 修一
開 発 業 績	家庭用燃料電池コージェネレーションシステム 「エネファーム type S」の開発
推 薦 者	一般社団法人日本ガス協会 会長 本庄 武宏

### 3. 人材育成と国際交流への助成

#### －岩谷国際留学生奨学助成－

##### 1) 決定

岩谷国際奨学生を決定した。

新規 16名

継続 13名

奨学金総額は52,206千円。

##### 2) 選考経過

2020年12月1日～20日まで20日間に亘り留学生の公募をしたところ241名(前年度282名)の応募があった。

2021年1月～2月に実施した書類審査・面接により、別表－3－1記載の16名に絞り込み、理事長が2021年度の新規奨学生に決定した。

なお、学位の取得を目指す別表－3－2記載の2020年度岩谷国際奨学生13名については、継続して岩谷国際奨学生とした。

##### 3) 交流活動

(1) 奨学生間及び奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

<第46回(2020年度)奨学生>

第5回例会(3月12日)

内 容：2020年度の振り返り(オンライン開催)

参加者：奨学生17名

<第47回(2021年度)奨学生>

第1回例会(4月16日)

内 容：オリエンテーション(オンライン開催)

参加者：奨学生16名

第2回例会(7月9日)

内 容：近況報告及び日本伝統工芸(金箔貼り)体験(オンライン開催)

参加者：奨学生15名

第3回例会(9月10日)

内 容 : 研究発表会(オンライン開催)

参加者 : 奨学生15名、OB・OG (アドバイザー) 3名

第4回例会(11月26日) 於 : 東京 (ホテル雅叙園東京)

[第46回(2020年度)奨学生(13名参加)との合同開催]

内 容 : 近況報告、テーブルマナー講座、着物着付け体験、  
伝統芸能(手妻)鑑賞

参加者 : 奨学生16名

(2) 学位取得後、日本や各地域で活躍している奨学生OB、OGとの交流を図るため、「友の会」各支部会をオンラインで開催した。

台湾支部会 (8月28日)

内 容 : 財団活動報告、近況報告、茶道体験(オンライン開催)

参加者 : 25名

中国支部会 (9月25日)

内 容 : 財団活動報告、近況報告、羽子板工房見学と制作体験  
(オンライン開催)

参加者 : 38名

モンゴル地区会 (10月16日)

内 容 : 財団活動報告、近況報告、和菓子作り体験(オンライン開催)

参加者 : 9名

韓国支部会 (10月16日)

内 容 : 財団活動報告、近況報告、茶道体験(オンライン開催)

参加者 : 24名

東南アジア支部会 (11月13日)

内 容 : 財団活動報告、近況報告、舞妓鑑賞(オンライン開催)

参加者 : 51名

別表-3-1: 第47回(2021年度) 岩谷国際奨学生

No	氏名	性別	年齢	国・地域	大学・専攻	課程
1	エスカル エンニワル AISIKAER ANNIWAER	男	27才	中国	弘前大学 安全システム	博2
2	権 熊 KWON WOONG	男	28才	韓国	名古屋大学 電子工学	修2
3	隋遇安 SUI YU-AN	男	28才	台湾	京都大学 応用生命科学	博2
4	ビヤムバートルジ フヤントゴトホ BYAMBADORJ BUYANTOGTOKH	男	24才	モンゴル	横浜国立大学 都市地域社会	修2
5	ガラブートルジ バトニヤクト GARAVDORJ BATNYAGT	男	27才	モンゴル	岩手大学 自然・応用科学	博2
6	スルン ソハソナラ SRUN SOVANNARA	男	27才	カンボジア	福井大学 安全社会基盤工学	修2
7	ニコラス エコ サプトラ NICOLAS EKO SAPUTRA	男	23才	インドネシア	大阪市立大学 都市系	修1
8	タン シャオイソ TAN SHAO YING	女	24才	マレーシア	大阪大学 生物工学	修1
9	ジン タンダラー テウソ ZIN THANDAR TUN	女	28才	ミャンマー	長岡技術科学大学 エネルギー・環境工学	博2
10	レガスピ アンナ エスペランザ キゾソ LEGASPI ANNA ESPERANZA QUIZON	女	27才	フィリピン	東京大学 環境システム	博1
11	ブンミ ハウイタ BUNME PAWITA	女	26才	タイ	九州工業大学 電気電子工学	博1
12	ソラウィット ホソピヤハイブソソ SORAWICH PONGPIYAPAIBOON	男	21才	タイ	宮崎大学 農学国際	修1
13	チョソマンコソ シラダラー CHONGMANKHONG JILADA	女	22才	タイ	大阪大学 行動生態学	修1
14	クエン ホアソ カソ NGUYEN HOANG KHANH	男	25才	ベトナム	福井県立大学 生物資源学	修2
15	コー テイトラー タオ NGO THI THU THAO	女	28才	ベトナム	北見工業大学 バイオ環境化学	修1
16	チャン ティー ニソソ TRAN THI NHUNG	女	24才	ベトナム	鹿児島大学 食品創成科学	修2

別表-3-2 : 第46回(2020年度)岩谷国際奨学生 継続者

No	氏 名	国 籍	大学・専攻	課 程
1	亢 健 KANG JIAN 男 28才	中 国	京 都 大 学 エ ネ ル ギ ー 基 礎 科 学	博3
2	李 婉 LI WAN 女 30才	中 国	鳥 取 大 学 生 産 環 境 科 学	博3
3	金景中 KIM KYOUNGJUNG 男 24才	韓 国	東 京 大 学 機 械 工 学	博2
4	金瑞因 KIM SEOIN 女 25才	韓 国	東 京 農 業 大 学 食 品 香 粧 学	博2
5	ナドミッド バヤルト NADMID BAYART 男 27才	モ ン ゴ ル	名 古 屋 大 学 地 球 環 境 科 学	博3
6	バタバヤル ペルジエー BATBAYAR PELJEE 女 25才	モ ン ゴ ル	東 京 工 業 大 学 地 球 環 境 共 創	博2
7	インノセントィオ アロイシウス ロエ INNOCENTIO ALOYSIUS LOE 男 29才	イ ン ド ネ シ ア	東 京 大 学 精 密 工 学	修2
8	ノール シャヒラ ビンティ マスローン NOOR SHAHIRA BINTI MASROON 女 26才	マ レ ー シ ア	近 畿 大 学 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 系 工 学	博3
9	ティン カー ウエイ TING KAH WEI 男 27才	マ レ ー シ ア	北 海 道 大 学 総 合 化 学	博2
10	スミヤノー SU MYAT NOE 女 23才	ミ ャ ン マ ー	宮 崎 大 学 工 学	修2
11	ヴェロニカ マルケズ VERONICA MARQUEZ 女 28才	フ ィ リ ピ ン	国 際 大 学 国 際 経 営 学	修2
12	ピトゥモン ハウツンチャラン PITUMON HAEWSUNGCHARERN 女 32才	タ イ	京 都 工 芸 繊 維 大 学 デ ザ イン 学	博5
13	グエン ティ スエン NGUYEN THI DUYEN 女 25才	ベ ト ナ ム	鹿 児 島 大 学 農 林 資 源 科 学	修2

#### 4. 主要事業日誌

年月日	内 容
2021/1/15	第47回(2021年度)岩谷国際奨学生候補者書類選考
2/ 3	2020年度(2020年1月1日～12月31日)監査
2/ 4～5	第47回(2021年度)岩谷国際奨学生候補者面接選考
2/17	2021年度第1回定例理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度(1月1日～12月31日)事業報告書(案) 並びに計算書類(案)承認</li> <li>・次期理事候補者(2021年3月18日～2023年3月)(案)承認</li> <li>・次期監事候補者(2021年3月18日～2025年3月)(案)承認</li> <li>・評議員候補者(補欠1名：2021年3月18日～2024年3月)(案)承認</li> <li>・第48回(2021年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦要項(案) 及び推薦書(案)承認</li> <li>・第48回(2021年度)岩谷直治記念賞候補者推薦要項(案) 及び推薦書(案)承認</li> <li>・研究助成及び表彰に関する選考委員の報酬等及び費用の一部改定 (案)承認</li> <li>・2021年度定時評議員会開催(案)承認</li> <li>・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他</li> </ul>
3/ 3	第47回(2021年度)岩谷国際奨学生決定(16名)
3/ 8	第8回研究成果発表会 第47回(2020年度)岩谷直治記念賞・岩谷科学技術研究助成金贈呈式
3/12	第46回(2020年度)岩谷国際奨学生第5回例会
3/18	2021年度定時評議員会(決議・報告の省略) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度(1月1日～12月31日)計算書類(案)承認</li> <li>・次期理事(2021年3月18日～2023年3月)承認</li> <li>・次期監事(2021年3月18日～2025年3月)承認</li> <li>・評議員(補欠1名：2021年3月18日～2024年3月)承認</li> <li>・2020年度(1月1日～12月31日)事業報告 他</li> </ul>
3/18	内閣府に事業報告等に係る提出書(2020年度分)提出

年月日	内 容
3/24	2021年度第1回臨時理事会（決議・報告の省略） ・理事長選定(案)承認 ・常務理事選定(案)承認
4/ 2	内閣府に変更届(理事10名（理事長、常務理事含）重任及び監事2名重任、評議員1名補欠選任)提出
4/ 8	京橋税務署に「公益法人等の損益計算書等の提出書」（2020年度）提出
4/16	第47回（2021年度）岩谷国際奨学生第1回例会
6/ 1	第48回（2021年度）岩谷直治記念賞候補者募集開始 第48回（2021年度）岩谷科学技術研究助成候補者募集開始 財団ホームページへ記念賞及び研究助成の推薦要項・推薦書を掲載
6/ 9	2021年度第2回臨時理事会（決議の省略） ・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
7/ 9	第47回（2021年度）岩谷国際奨学生第2回例会
7/31	岩谷科学技術研究助成推薦締切（196件）
8/ 1	研究報告書(Vol. 44)発刊 財団機関誌「needs」（Vol. 47）発刊
8/28	岩谷国際奨学生「友の会」台湾支部会
8/31	岩谷直治記念賞推薦締切(3件)
8/31	2021年度第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
9/10	第47回(2021年度)岩谷国際奨学生第3回例会
9/25	岩谷国際奨学生「友の会」中国支部会
10/16	岩谷国際奨学生「友の会」モンゴル地区会、韓国支部会
10/22	2021年度第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
11/ 8	2021年度第2回定例理事会 ・2022年度(1月1日～12月31日)事業計画書(案)承認 ・2022年度(1月1日～12月31日)収支予算書(案)並びに 「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認 ・第48回(2021年度)岩谷科学技術研究助成候補69件承認 ・第48回(2021年度)岩谷直治記念賞候補1件承認 ・第24期奨学生選考委員一部変更(案)承認 ・奨学生選考規程の一部変更(案)承認 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
11/13	岩谷国際奨学生「友の会」東南アジア支部会

年 月 日	内 容
11/15	内閣府に変更届(評議員1名退任)提出
11/15	第48回 (2021年度)研究助成金受領者及び記念賞受賞者開示
11/17	内閣府に2022年度事業計画書及び収支予算書提出
11/26	第47回 (2021年度)岩谷国際奨学生第4回例会
12/ 1	第48回 (2022年度)岩谷国際奨学生募集開始
12/20	第48回 (2022年度)岩谷国際奨学生募集締切(152名)

以 上



## 事業報告の附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。